

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	てらびあぼけっと尼崎阪急塚口駅前教室			
○保護者評価実施期間	2025/9/26 ～ 2025/10/10			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025/9/26 ～ 2025/10/3			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	2025/10/10
○事業者向け自己評価表作成日	2025/10/15			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様が何より楽しく通ってくださっている	スモールステップで支援を実施できるよう、お子様のご様子の把握、保護者様のニーズをお伺いしている	引き続き、プログラムが固定化しないように職員同士、色々な案を出し合い、お子様のご様子の情報共有を行う
2	個別と集団の療育を行っている	集団個別共に園で必要なスキルを学べたり、集団でしか行えない、遊びや同年代のお友達との関りの機会を作っている また、集団で難しかった課題について個別で支援することが出来る	支援計画作成時に、具体的に支援内容について記載していくとともに、園での様子などを定期的に聞き取り支援に活かしていく
3	保護者の方のお話を丁寧に伺い、個別支援計画を作成している	カンファレンスを行い、保護者の方のニーズやお子様の状況を整理し、可能な限り具体的にわかりやすい表記になるよう心がけている	引き続き保護者様やお子様の様子を細かく整理し、お子様に合った個別支援計画になるよう工夫していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	細かな事業所の体制（マニュアル・訓練）が周知しきれていない点	契約時にお時間をいただき、たくさんの情報をお伝えする為、保護者の方にとって分かりづらくなっている可能性がある	契約時にお伝えする情報を整理し、わかりやすくお伝えしていく 大事な点に関しては、契約以外の場面でも繰り返しご説明したり、目につきやすいところに掲載したりと、工夫をしている
2	保護者会等の開催が出来ていない	個別療育の為、入室時間も個々で違うため、保護者様同士の交流を持つことが難しい また、保護者会の参加や交流を望まれていない方も増えている	保護者様のご意向を聞きながら、慎重に検討していく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		てらびぁぼけっと尼崎阪急塚口駅前教室					公表日 2025年 10月 20日		
							利用児童数	2025年 10月 1日 30名	回収数 22
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	0	0	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	0	0	1		・引き続き、個別に支援する体制を継続できるよう努めていきます	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	0	0	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	0	0	0	・いつも清潔に保たれ、明るいです		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	1	0	0			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	0	0	0			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	1	0	0	・要望や課題、取り入れてほしいことを伝えると、プログラムに入れていただいており、満足しています		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	0		・引き続き、保護者様と面談を重ね、目標とすべき姿をガイドラインに則って、支援していきます。ご不明な点がございましたら、お気軽にお声がけください	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	0		・引き続き、保護者様と面談を重ね、目標とすべき姿をガイドラインに則って、支援をおこなっています	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	0	0	0	・繰り返して覚えることなども子どもが飽きないように、考えられています。	・引き続き、保護者様と面談を重ね、目標とすべき姿をガイドラインに則って、支援をおこなっています	
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	6	10				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0	・契約の際に丁寧に説明してくださっています		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	1	6	・研修会はありませんが、子どもの対応や困りごとをに対するの関わり方のアドバイスをしてくださったり、話を聞いてくださっています	・フィードバック時に、ご家庭でもできる、ペアトレをご案内していきます	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	22	0	0	0	・お迎えの際に状況を丁寧に伝えてくださっています		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	0	0			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	0	・お迎えの際に様子を丁寧に伝えていただいたり、家庭や園での様子を聞いてくださり、相談に乗っていただいています	・今後も寄り添った支援を続けていきます	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	9	9	・不要だと思います ・交流を希望しないため、必要ないと思います	・ご利用者様のご意向を見ながら、検討していきたいと思います	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1	0	1	・相談事がある際は、面談の機会を作ってください	相談を随時受け付けているという旨を定期的にお知らせしていきます		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	0	1	・てらぼけだよりを毎月発行してくださっています	・インスタやお便りにて、日々の活動を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1	1	3	・契約の際に、説明をしてくださっています	・職員間の定期的なマニュアルの読み合せや研修を行っています。訓練の内容については、てらぼけだより、インスタ等で引き続き周知していきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	1	5		・職員間の定期的なマニュアルの読み合せや研修を行っています。訓練の内容については、てらぼけだより、インスタ等で引き続き周知していきます
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	0	0	1	・避難訓練や交通ルールの取り組みを行ってくださっています	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	1	・体調の変化が見られた際は、すぐに連絡をくださいます	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0	・てらびあぼけっтоに行く日だとわかと、とても嬉しそうにしています ・先生の名前も覚えて楽しく通所しています	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	・いつも楽しみにしており、風邪などの理由でお休みするととても残念そうです ・場所や先生にも慣れて、いつも楽しく通所しています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	1	0	・子どもだけでなく、親に対しても思いやりのある対応をしていただき、ありがたいです	・引き続き、ひとり一人のお子さまに寄添った支援を心がけて参ります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	てらびあぼけっと尼崎阪急塚口駅前教室	公表日 2025年 10月 20日
------	--------------------	-------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		個室と機能訓練室を分けながら実施している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		身支度表、手洗い表など視覚からもわかりやすいような工夫ををしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		セラピーグッズは消毒をし、清潔なものを使用している。施設内も毎日掃除を行い、衛生管理や安全管理に努めている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		3つの個室と相談室があり、落ち着ける環境を作っている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			保護者様の評価結果をもとに業務改善に繋げている
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		てらびあぼけっとの研修や外部研修に参加をしている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		H Pに公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		担当者からの情報共有や活動記録を基に、課題を分析している。また保護者との面談でニーズを伺っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		カンファレンスを開催し、支援計画の原案に基づいて検討が行われている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員で共有し、計画に沿った支援を実施している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		アセスメントやカンファレンスの場で全職員からの意見をもらい、長期目標、短期目標を設定し、誰が見てもわかりやすい計画設定をしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		こどもの発達段階やプログラムのアイデア等、職員間で日々意見交換を行っている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団活動を積極的に取り入れ、個別セラピーでの学びを活かせるように心がけている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保護者様を介して情報共有の機会を設けている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		保護者と情報共有を行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談事がある場合は、面談の機会を設けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		保護者様のご意向を踏まえて、必要があれば交流する機会を設ける必要があると考えている
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ホームページのブログで発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付き書庫にて適正に管理している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々に合わせた配慮を行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		保護者様のご意向や、個人情報などの課題があるが、地域の情報収集を行い、引き続き検討を行う
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		発生を想定した訓練を実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に訓練を実施している 避難訓練では、地震・火事・水害を想定して行った。お子様にも参加してもらい、セラピーの中で避難訓練を行った。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時にお子様の状況について確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		食事の提供はない 契約時にアレルギーの情報は聞きとり、共有はしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、安全管理を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			その都度、共有と検討をし再発防止に努めている
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止の研修を行っている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		契約時等に説明を行っている 身体拘束の三要件については研修を行い、職員全員で確認をしている。まだ事例はないが今後必要になってきた場合には保護者様と話し合い対応していく。	